

六月

平成27年

【定例公演】6月3日(水) 午後1時開演

狂言 若和布 佐藤 融(和泉流)

能 融 坂井 音重(観世流)

【普及公演】6月13日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない 馬場あき子(歌人)

狂言 饅頭 山本 則孝(天蔵流)

能 実盛 梅若万三郎(観世流)

【定例公演】6月19日(金) 午後6時30分開演

狂言 入間川 野村 萬(和泉流)

能 富士太鼓 粟谷 能夫(喜多流)

【能楽鑑賞教室】

6月22日(月)～26日(金) 午前11時開演
午後2時開演

解説能楽のたのしみ 高橋 巨他

狂言 寝音曲 大藏千太郎(大蔵流他)

能 船弁慶 朝倉俊樹(宝生流他)

予約開始 = 5月9日(土) 午前10時～
窓口販売開始 = 5月10日(日) (チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時～午後6時) 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

【インターネット】<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

※一般券のみ <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン) ※詳細は左記ホームページをご覧ください。

●一般のみ取扱い=チケットびあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/> / e+ (イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>

入場料金
定例・普及公演 一般：正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700 / 学生：脇正面¥2,200・中正面¥1,900

能楽鑑賞教室 学生：全席¥1,300 / 一般：正面¥3,100・脇正面¥2,600・中正面¥2,100

能楽鑑賞教室は学生・生徒の団体鑑賞を目的とした公演ですので、席をお取りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。出演者などの変更の場合はご了承ください。

定例公演 字幕

6月3日(水)午後1時開演

若和布

狂言(和泉流) 狂言(和泉流)
シテ/新発意 アド/住持 佐藤 藤
アド/すっぱ 今枝 友彦
アド/女 井上 松次郎

融

能(観世流) 能(観世流)
後シテ/融大臣 坂井 音重
ワキ/旅僧 野村 又三郎
アイ/所の者 一 増庸二

酌之舞

武田 祥照 坂井 音隆
武田 文志 岡 久広
坂井 音晴 浅見 真州
長山 桂三 坂井 音雅

終演予定午後3時30分頃

能楽研修発表会「第7回青翔会」

国立能楽堂研修生、研究生を中心とした公演。

6月15日(月)午後1時開演

能「観世流」竹生島 安藤 貴康
狂言「和泉流」柿山伏 野村 虎之介
舞囃子「小袖曾我」「邯鄲」狂言小舞

(入場料金)

正面 1500円

脇正面 1000円/学生 700円

中正面 700円/学生 500円

予約開始 5月9日(土)

窓口販売開始 5月10日(日)

*字幕表示はありません。

普及公演 字幕

6月13日(土)午後1時開演

解説・能楽あんない
錦の直垂を着る実盛

馬場 あき子

饅頭

シテ/遠国の方者 山本 則孝
アド/饅頭売り 山本 則重

実盛

能(観世流) 能(観世流)
後シテ/齋藤別当実盛 梅若 万三郎
ワキ/遊行上人 宝生 生閑
ワキツレ/從僧 宝生 欣哉
ワキツレ/從僧 則久 英志

武田 幸藤 田次郎
小鼓 幸藤 田次郎
大鼓 亀井 忠雄
太鼓 小寺 佐七
後見 梅若 紀長

青木 健一 八田 達弥
梅若 泰志 青木 一郎
長谷川晴彦 伊藤 嘉章
遠田 修 馬野 正基

終演予定午後4時頃

定例公演 字幕

6月19日(金)午後6時30分開演

入間川

狂言(和泉流) 狂言(和泉流)
シテ/大名 野村 萬
アド/太郎冠者 小笠原 匡
小アド/入間の某 野村 万蔵

富士太鼓

能(喜多流) 能(喜多流)
シテ/富士の妻 粟谷 能夫
子方/富士の娘 粟谷 僚太
ワキ/官人 森 常好
アイ/官人の從者 野村 万禄

佐々木多門 金子敬一郎
粟谷 充雄 長島 茂
粟谷 浩之 粟谷 明生
大島 輝久 内田 成信

終演予定午後8時45分頃

能楽鑑賞教室 字幕

6月22日(月)・26日(金)

午前11時・午後2時開演

能楽のたのしみ

解説
24日午前・25日午後 高橋 憲正
24日・26日 高橋 憲正
22日午後・23日午前 高橋 憲正

寝音曲

能(宝生流) 能(宝生流)
22日午前 山本 泰太郎
22日午後 山本 則孝
23日午前 山本 則重
23日午後 山本 則秀
24日午前・26日午後 大藏 千太郎
24日午後 大藏 基誠
25日午前 善竹 富太郎
25日午後 善竹 大二郎
26日午前 大藏 教義

船弁慶

能(宝生流) 能(宝生流)
22日午前・25日午後 朝倉 俊樹
22日午後・23日午後 藤井 雅之
23日午前・26日午前 金井 雄資
24日午前・25日午前 金森 秀祥
24日午後・26日午後 東川 光夫

終演予定午後1時10分頃・4時10分頃

能楽鑑賞教室は学生・生徒の団体鑑賞を目的とした公演ですので、席をお取りできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

若和布 寺の僧が、都へ行き若和布を買ってこいと新発意(新米の僧)に命じますが、若和布を知らない新発意はだまされて若女を連れて来てしまい、月下に広がる融の幻影

融 かつて融大臣が、贅を尽くし陸奥の塩焼きの風情をも移し楽しんだ六条河原院。今は廃墟となった院の跡に融大臣の霊が現れ、月明かりのもと懐旧の舞を舞います。

入間川 都に滞在していた大名は、太郎冠者とともに帰国します。途中川に出たので、対岸の男に浅瀬を問います。何でも逆さに言う「入間言葉」を題材にした愉快な曲です。

夫への思慕 太鼓への恨み 富士太鼓 宮中での衆人争いで殺められた富士。夫の死を知り、形見の鳥兜と装束を身に付けた妻は、太鼓こそが夫の敵と撥を手に激しい怒りをもって太鼓を打ち鳴らします。

寝音曲 主人に語を所望された太郎冠者は、面倒なので、酒や女の膝枕がないと語えないと嘘をつき、その場を逃れようとしています。

船弁慶 愛する源義経との別れを嘆き悲しみ、優美に舞を舞う静御前。そして船出した義経一行を襲う平知盛の怨霊、二つの劇的な場面から構成された、見ごたえのある人気曲です。

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。 ●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。 ●開演中は、時計等のアラーム音や携帯電話の電源はお切りください。 ●開演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。



入会受付中! チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載! お問い合わせはあぜくら会事務局 03-3264-0555 (平日10:00~17:00/土日・祝日・年末年始・7/1休)まで 詳しくはあぜくら会HP http://www.ntj.jac.go.jp/member